

令和元年度 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府）
「訪日外国人医療対応人材育成事業」

受講者募集要項

令和元年 8 月
株式会社 CSD コンサルタンツ

令和元年 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府）

「訪日外国人医療対応人材育成事業」受講者募集要項

1. 目的

近年、沖縄を訪問する外国人が急激に増加しており、今後もさらなる外国人観光客の増加が想定されます。県内医療機関においては、地域医療に奮闘する中、外国人を含め何人に対しても迅速かつ最善の医療を提供しなければならず、医療文化や医療習慣の違いや、外国語対応、日本人とは異なる医療費負担等未収金などの課題も含め、外国人への医療対応は、不安材料や、課題となっています。

医療現場における外国人患者対応においては、多言語コールセンターや通訳アプリケーションなどの導入も進んできているところですが、組織としての全体的な対応整備（外国人患者対応マニュアル、組織内体制等）までには至っていない医療機関も多いかと思えます。外国人患者に対しても笑顔で対応できる人材の広がり求められます。

本事業では、看護師をはじめとする病院スタッフを対象に、外国人患者に対応するための基本的な知識と情報、対応力を習得するための講座（英語）を開催し、医療機関における外国人医療対応人材育成を行うとともに、組織における外国人患者受入における体制整備のきっかけとすることを目的に本講座を実施します。

2. 受講対象

- ①～③のすべてを満たす方を対象とします。
- ①県内の**医療機関に従事**している方
- ②現在、もしくは今後、業務を行う上で、外国人患者の受け入れにおいて多少の不安があり、さらなる知識・能力を習得したいと考えている方。
- ③英語力のレベルは問わない
- ④組織における上司から推薦のあった方。
※ネイティブスピーカーおよび上級レベルの方は対象にならない内容となります。

3. 対象言語 英語

4. 受講料 無料 ※離島からの参加者については旅費宿泊費サポートあり(4名まで)

5. 募集定員 30名

6. 開催場所（予定）

沖縄キリスト教学院大学を主な会場とする。

沖縄キリスト教学院大学(中頭郡西原町字翁長 777)

7. 講座内容および講習時間（予定）

- ①開催曜日 土曜日
- ②講座時間 1コマ3時間(9:30～12:30、現場演習 7:30～12:30)
- ③講座内容 座学×9回、医療機関での現場演習(前後5時間程度)×1回
※講座では毎回、ネイティブスピーカーを招聘し、気軽に会話に触れる場としていきます。

【本講座で目指す人材像】

- ・外国人患者に対し、壁をつくることなく、笑顔で対応できる人材
- ・国によって異なる文化やコミュニケーション対応の違い、注意事項を知っている人材
- ・通常業務における受付対応、問診票記入サポート、診療科対応における基本的なフレーズを外国語で伝えることができる人材
- ・国によって異なる制度の違いや対応方法や連携機関の情報を有し誘導できる人材
- ・外国人受入の際に自分が使えるツールを自分で工夫して整備することができる人材

【期待される成果と目標】

- ・外国人ということで、入口段階でアレルギー反応することなく、笑顔で対応できる。（誰もが安心して安全に来県することができる沖縄となる）
- ・不安を感じながら、対応できていない医療機関や、また、これまで外国語力があまりないと判断して対応してこなかったスタッフが、基本的なフレーズや対応知識を得ることで、対応できる技術取得の一步となり、県内医療機関の外国人対応能力の面的な底上げとなる。

8. 受講者選定

受講者は、下記の審査に基づき選定致します。

- ①審査は、一次審査(書類審査)とし、その結果を踏まえ、本事業実行委員会にて決定致します。※定員を超える場合、組織からの参加数、職種数により、参加者を選定する場合があります。
- ②審査結果については、応募者全員にメールにて通知します。
- ③状況に応じ、追加募集を行う場合があります。
- ④次のいずれかに該当すると認められる場合は、選定の取り消しを行います。
 - ・応募書類の記載内容に、虚偽の記載があった場合
 - ・応募者の参加資格を満たさなくなった場合

【選考ポイント】

- ・熱意・意欲・向上心
- ・課題意識
- ・医療機関における貢献度
- ・将来性

9. 募集期間およびスケジュール等

	スケジュール・内容等
募集内容案内・受付期間	令和元年 8 月 7 日(水)～9 月 20 日(月)当日必着
一次審査(書類審査)	令和元年 9 月 20 日(金)
選定決定会議	令和元年 9 月 24 日の週 ※本事業有識者委員会にて協議確定
選定結果通知	令和元年 9 月末 ※メールおよび書面にて通知

10. 申込方法

本要項巻末の、下記内容の様式 1、様式 2 については、ご郵送を、様式 3 についてはメールにて送付ください。メール送付が難しい場合は、下記担当者宛、ご連絡ください。

送付先は、下記、**【問い合わせ・申込先】**となります。

- ①(様式 1)受講申込書
- ②(様式 2)推薦書 ※看護部長や部署長からの推薦でかまいません。
- ③(様式 3)課題意識確認書:本人 ※本様式は E-mail ワード版でメール送付ください

11. 修了要件および修了証の交付

下記の修了要件を満たしたものを対象に、本事業実行委員会の決議を得て、内閣府より大臣名にて修了証が交付されます。

- ①全講座の受講
- ②毎回の講座での感想アンケートすべて提出および課題が出された場合の全提出
- ③講座全体を通して得られた対応力および習得率:筆記試験結果、実技試験結果

12. その他

本講座では、効果的な講座構成および研修効果の向上、また研修効果の確認を目的に、研修後に受講者の組織上司を含め、フォローアップ調査等を行う予定です。ご協力をお願いします。

【問い合わせ・申込先】

本事業事務局 株式会社 CSD コンサルタンツ

担当:友利(直通 **090-1946-2321**)

西銘・金城 TEL098-878-7020 FAX098-878-7021 E-Mail medical@csd-c.co.jp

住所:〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客四丁目 13 番 1 号

浦添市産業振興センター結の街 503 号室

[送付先]

〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客四丁目 13 番 1 号 浦添市産業振興センター結の街 503 号室
(担当:金城・西銘)

[様式 3 送付先]

medical@csd-c.co.jp

令和元年度 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府） 訪日外国人医療対応人材育成事業
「沖縄の医療機関における外国人医療対応人材育成」講座
講座スケジュール（案）

	開催日 (土)	時間	講座内容(予定)	会場(予定)	ネイティブ スピーカー在
第1回	10/26	AM 9:30~12:30	開講式・キックオフ 各医療機関の現状・事例報告 (事前宿題・発表) 英語による自己紹介等英語力確認	沖縄産業振興センター 1F 展示場 (那覇市字小禄1831番地1)	
第2回	11/2	AM 9:30~12:30	通訳技術の基礎・技術実践 ・通訳技術の基礎 ・機器を使ったSpeaking実践 ※ディスカッション(ワーク)	沖縄キリスト教学院大学 (中頭郡西原町字翁長777)	★
第3回	11/9	AM 9:30~12:30	外国人患者対応の事例・注意点 ・コミュニケーション対応方法と事例 ・病院における外国人患者対応のための 準備ツール、対応例等 ※ディスカッション(ワーク)	PROME那覇古島 会議室 (那覇市銘苅1-19-1 アクロスプラザ古島駅前2F)	★
第4回	11/16	AM 9:30~12:30	医療現場における英会話①② ・医療機関で使用する会話実践 ※ディスカッション(ワーク)	沖縄産業振興センター 3F 312 (那覇市字小禄1831番地1)	★
第5回	11/23	AM 9:30~12:30	医療現場における英会話③④ ・医療機関で使用する会話実践 ※ディスカッション(ワーク)	浦添市てだこホール 多目的室2 (浦添市仲間1-9-3)	★
第6回	11/30	AM 9:30~12:30	医療機関のカルテ等準備手法 実際の事例・対応ワーク ※ディスカッション(ワーク)	沖縄産業振興センター 3F 315 (那覇市字小禄1831番地1)	★
第7回	12/7	AM 9:30~12:30	医療現場における英会話⑤⑥ ・医療機関で使用する会話実践 ・アレンジ対応等(実践) ※ディスカッション(ワーク)	浦添市産業振興センター結の街 中研修室 (浦添市勢埋客4-13-1)	★
第8回	11月下旬 ~ 12月上旬 (平日1日)	AM 7:30~12:30 ※受入病院の指 定により変動あり	現場演習 ※外国人患者対応現場 でのシャドーイング 診察、検査、入院患者等	牧港中央病院 アドベンチストメディカルセンター	★
第9回	12/14	AM 9:30~12:30	医療現場実践会話作成・実践 筆記試験 ※最終試験実践練習・指導等	浦添市産業振興センター結の街 中研修室 (浦添市勢埋客4-13-1)	★
第10回	12/21	AM 9:30~12:30	最終講座・閉講式 実技試験(成果報告)	沖縄県教職員共済会館八汐荘 1F 屋良ホール (那覇市松尾1-6-1)	★

※カリキュラム内容および会場等については一部変更となる場合があります

(様式1) 受講申込書

令和元年 月 日

令和元年度 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府委託事業）
「訪日外国人医療対応人材育成事業」

受講申込書

下記のとおり、講座受講を申し込みます。

氏名	
----	--

所属情報

医療機関名	
医療機関住所	
代表者役職	
代表者名	
電話番号	
FAX	
上司宛 E-MAIL ※通知送付先	

申込者情報

所属部署	
E-MAIL ※個人アドレスをご記載ください。 個別連絡として適宜送付します。 個人情報として活用を厳守します。	
職種	
業務年数 ※個人としての業務年数をお書き ください。	年
外国語のレベル ※選定の判断材料とはなりません。 講座内容を構成する上で確認の ためのお聞きするものです。	次ページ[2019年度 NHK 英語講座レベル一覧]を参考に、 下記の何れか1つに○をつけてください C2レベル・C1レベル・B2レベル・B1レベル・A2レベル・A1レベル・A0レベル

なお、下記内容についても同意します。（下記、□に✓を入れてください）

- 1. 全日程、講座を受講します。
- 2. 組織、受講生ともにアンケート、研修後のフォローアップ調査等に回答します。
- 3. 研修で得た内容を従事している医療機関に共有し、組織全体の成果に努めます。

2019年度 NHK英語講座レベル一覧

<https://eigoryoku.nhk-book.co.jp/cefr>

C2 レベル	<p>ほぼすべての話題を容易に理解し、その内容を論理的に再構成して、ごく細かいニュアンスまで表現できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほぼすべてのものを容易に理解できる。 ・内容をまとめたり、論理的な再構成ができる。 ・会話は自然で複雑な状況でも、明瞭に自分の意見を表現できる。
C1 レベル	<p>広範で複雑な話題を理解して、目的に合った適切な言葉を使い、論理的な主張や議論を組み立てることができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな分野の文章を読んで、書き手の微妙な意図が理解できる。 ・会話は滑らかで目的に合った適切な言葉を柔軟に効果的に使える。 ・文章作成のテクニックや接続表現などを効果的に使える。
B2 レベル	<p>社会生活での幅広い話題について自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を表現できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の専門分野であれば、抽象的な議論も理解できる。 ・母国話者ともリラックスして、自然にやりとりができる。 ・いろいろな話題についての意見を長短含めて述べるができる。
B1 レベル	<p>社会生活での身近な話題について理解し、自分の意思とその理由を簡単に説明できる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活ならだいたい理解できる。 ・海外を旅行中に、さまざまな対応ができる。 ・簡単だが、首尾一貫した文章を作れる。
A2 レベル	<p>日常生活での身近なことからについて、簡単なやりとりができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族・近所・買い物などの基本的な表現がほぼ理解できる。 ・簡単な表現を使って、自分の状況報告ができる。 ・短いメモやメッセージが書ける。
A1 レベル	<p>日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な自己紹介ができる。 ・ゆっくりした会話なら何とかついていける。 ・ホテルなどでフォームに個人情報を記入できる。
A0 レベル	<p>ごく簡単な表現を聞きとれて、基本的な語句で自分の名前や気持ちを伝えられる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な単語を聞いて、それが何を指すのか理解できる。 ・大文字・小文字を識別し、音読できる。 ・日常的な決まり文句を場面の中で理解し、使える。

(様式2) 推薦書

令和元年 月 日

令和元年度 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府委託事業）

「訪日外国人医療対応人材育成事業」事務局 代表者 殿

(所属先名)

(役職名)

(推薦者名)

⑩

令和元年度沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府委託事業）における下記講座の受講者として、以下の者を適当と認め推薦します。

記

1. 講座名：「訪日外国人医療対応人材育成事業」
2. 氏名：
3. 推薦理由：(例：本講座への受講者派遣の理由。貴医療機関における推薦者の役割、貢献・姿勢等。また、推薦者を基軸にした組織としての今後の予定や講座結果の活用方法など)

以上

令和元年度 沖縄型産業中核人材育成事業（内閣府委託事業）

「訪日外国人医療対応人材育成事業」

課題意識確認書：本人用

医療機関名	
氏名	
職種	

【講座受講きっかけ：動機】

1. この講座を受けようと思ったきっかけ

【課題意識等】

2. ご自身が従事する医療機関で業務する中で、外国人患者の受け入れ対応において、ご自身が感じていること・考え・課題、また今後の対応策を含めたご意見等

【目標設定】

3. この講座を受けることを通して、その内容・結果をご自身の仕事にどのように活かそうと、考えていますか。または理想のゴール。